

救助訓練



# 本庄市総合防災訓練を実施



9月10日、地震災害を想定した『本庄市総合防災訓練』が仁手小学校で実施され、避難訓練や初期消火訓練、防災ヘリコプターによる救助訓練などにおおぜいの方が参加しました。

ま  
ち  
か  
ど  
ス  
ナ  
ツ  
プ



放水訓練



初期消火訓練



避難訓練



児玉郡市広域消防本部職員による実技指導

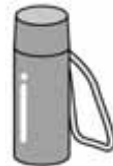
9月13日、アピタ本庄店で救急フェアが開催され、AEDや心肺蘇生法などの実技指導が行われました。



救急フェア



給水訓練



## 塙保己一先生の顕彰祭を開催

総検校塙保己一先生の没後185年目を迎えた9月12日、セルディにおいて遺徳顕彰祭が開催されました。

今年も先生の生まれた保木野地区の児童のほか、市内外から合わせて200人の参加者が、先生の遺徳をしのび献花を行いました。



9/6 パッチワーク教室(東公)



9/5 水中ウォーキング教室(藤田公)



9/18 老人大学自治会まつり(児玉中央公)



9/14 だんべえ踊り講習会(中央公)

秋の公民館活動

新しいまちづくりが始まります！

9月6日、本庄早稲田駅周辺の新しいまちづくりが国から許可されました。元の計画は大幅に変更され、都市再生機構が駅周辺約65ヘクタールの土地を事業費約137億円かけて区画整理をすることとなりました。これまで心配されていた地権者ならびに市民の皆様には長らくお待たせいたしました。

厳しい財政難の中、このまちづくりは市にとって非常に大きな課題です。今回の整備に含まれなかった周辺の地域との整合性の問題、また国や県も大変力を注いでくれるとはいえ、それでも今の市には重い負担がかかります。

しかし、だからといって開発事業を止めてしまっただけでは、すでに市街化区域となり土地取引が容易になった駅前を放っておくこととなります。そうすると道路などのインフラがほとんど未整備のまま、小規模の住宅やアパートだけが無秩序に建てられ、駅周辺の価値が台無しになることは明らかです。

私はこの開発について財政難の中、しかも緊急に整備を進めねばならないという、相反する矛盾をどう乗り越えて行くか考えました。幸い企業からの進出の打診もありますし、駅の乗降客も4,000人を越えて増え続けています。国、県の力を最大限に活かし、市も出費に出来るかぎり工夫をしつつ、最大の経済効果を生み出すための方策として、今回の事業を推進することを決断いたしました。しかもただインフラを整備するのではなく、交通の結節点、早稲田大学の研究拠点という地の利を最大限に活かし、企業や住宅を出来る限り誘致し、北関東全体を視野に入れたまちを、また景観に配慮した美しいまちを創りたいと考えております。機構、県との信頼関係を基盤に、今後とも地権者、市民の皆様のご理解をいただきながら、市としてなすべきことに全力で取り組んでまいります。

新しいまちづくりのスタートを祝福するかのように、本庄早稲田駅の東側の丘に夜になると光の文字が美しく輝いているのをご存知ですか。後日あの丘を市民の手により、ろうそくの光で埋め尽くすイベントが企画されているようです。市民のアイデアが美しいまちを創る、そんな時代を予感させるイベントになると期待しています。

本庄市長 吉田信解

秋のスポーツ&文化活動！

9/10  
市民インディアカ大会



9/10  
市民柔道大会



9/9~10  
埼玉県展作品展



長い間のご利用  
ありがとうございました



これまで多くの人にご来場いただきました市民プールが、9月3日をもって閉鎖となりました。当日に行われた「さよならセレモニー」では、抽選で100人の来場者に記念品が手渡されました。

野鳥の詩

オオタカ <全長♂50cm、♀56cm>

● 鳴き声 「ケツケツケツ」

ハシボソガラス <全長50cm>

● 鳴き声 「ガーッガーッガーッ」  
● 撮影地 シルクドーム上空



争っているのか戯れているのかは定かではありませんが、両者が一緒に撮れた珍しい画像です。

オオタカと聞くと何か大きな鷹を連想しますが、殆どガラス大、漢字では「蒼鷹」と表現する場合があります。凶鑑

などでも一緒にの写真は少なく、今回は大きさの比較が実証出来た2ショットです。この写真のオオタカは ですが、猛禽類は該して のほうが若干大きい感じです。

なお、利根川で見られる野鳥については、「坂東太郎の野鳥たち」のホームページ (<http://members.my.home.ne.jp/shoubou/>) でもご覧になれます。

文・写真 町田好一郎

めでたく100歳を迎えられた前原1丁目にお住まいの安久沢フクさん(明治39年9月21日生まれ)を吉田市長が訪問し、お祝いの「寿状」を手渡しました。



祝  
百歳

